

# 「小樽市過疎地域自立促進市町村計画」の概要

## ■基本的な事項

### 1 小樽市の概況

- 自然的条件の概要
  - ・地勢・地理的状况、気候
- 歴史的条件の概要
  - ・明治～昭和初期に発展、戦後に斜陽化、観光都市へ
- 社会的、経済的条件の概要
  - ・アクセス、高等教育、経済、産業
- 過疎の状況
  - ・人口の動向等、今後の見通し等

### □社会経済発展の方向の概要

「小樽ならではの価値 = 地域特性・強み」を市民と共有していく中で、地域振興方策を展開

- ・札幌市と隣接する地理的環境
- ・恵まれた自然環境
- ・産業・文化遺産などの歴史的資源
- ・大学などを有する学術的環境
- ・多機能の港湾施設 ・全国の知名度 など

### 2 人口及び産業の推移と動向

- 昭和35年～平成17年までの国勢調査（年齢別人口の推移） □産業別人口の推移、比率

### 3 行財政の状況

- 小樽市の財政状況（H12～20年度決算額の状況） □行政組織の状況（市組織の定員数の推移 : 過去10年間）

### 4 地域の自立促進の基本方針

#### 【市の将来都市像】

#### 『歴史と文化が息づく 健康、にぎわい、協働のまち』

○まちづくりのテーマ

- I 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）
- II 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）
- III 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）
- IV ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）
- V 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

#### 【特別事業（ソフト事業）の展開】

##### ◆住民福祉の向上と雇用の増大

- ・少子高齢化対策
- ・地域コミュニティの充実
- ・地場産業の振興

##### ◆定住自立圏構想の推進

- ・移住の促進 ・医療の確保
- ・地域福祉対策 ・販路拡大
- ・広域観光の形成

5 計画期間 ; 平成22年度 ~ 平成27年度（6か年）

## ■自立促進計画の推進

### 1 産業の振興

- ◆農林業 ◆水産業 ◆工業・企業立地
- ◆商業 ◆観光 ◆雇用・労働 ◆港湾

### 2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流

- ◆道路・河川等 ◆交通 ◆情報・通信
- ◆地域交流（広域連携の推進、国内・国際交流）

### 3 生活環境の整備

- ◆上下水道 ◆廃棄物処理 ◆消防防災
- ◆住宅 ◆公園・緑地 ◆環境 ◆景観

### 4 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

- ◆高齢者福祉 ◆児童福祉 ◆障害者福祉
- ◆地域福祉 ◆保健福祉

### 5 医療の確保

- ◆地域医療・救急医療体制 ◆市立病院の整備

### 6 教育の振興

- ◆学校教育 ◆社会教育
- ◆スポーツ・レクリエーション
- ◆青少年・男女平等参画社会

### 7 地域文化の振興等

### 8 集落整備（コミュニティの維持・形成）

### 9 その他地域の自立促進に関し必要な事項

- ◆市街地整備
- ◆新幹線を活用したまちづくり